

# Minami Kyushu University Junior college Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	研究科園芸学専攻				
科目名称	資源植物生産学特別演習 I					授業形態	演習		
科目コード	631202	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員		アクティブラーニング	○
担当教員名	廣瀬 大介							ICT活用	
授業概要	本特別演習は、受講生各自が各テーマに沿った論文や文献などを紹介して、このことから、より深く資源植物の意義や必要性について学んでいくことを目的に行う。								
関連する科目	資源植物生産学特論 I, II を受講しておくこと。また、資源植物生産学特別実験を受講していること。								
授業の進め方と方法	毎回、アクティブラーニング型授業を実施する。本授業は、受講生が各テーマに沿って発表し、その内容について全員で討論する方式で行う。								
授業計画	<p>第1回 資源植物の意義 1 社会的意義 社会的意義について深く学ぶ。 <input type="checkbox"/></p> <p>第2回 資源植物の意義 2 経済的意義 経済的意義について深く学ぶ。 <input type="checkbox"/></p> <p>第3回 資源植物の意義 3 生物資源 生物資源としての意義について深く学ぶ。 <input type="checkbox"/></p> <p>第4回 資源植物の意義 4 循環型社会 循環型社会における資源植物の意義について深く学ぶ。 <input type="checkbox"/></p> <p>第5回 資源植物の必要性 1 食材（主食） 資源植物の食材（主食）としての必要性について深く学ぶ。<input type="checkbox"/></p> <p>第6回 資源植物の必要性 2 食材（副食） 資源植物の食材（副食）としての必要性について深く学ぶ。<input type="checkbox"/></p> <p>第7回 資源植物の必要性 3 嗜好品 資源植物の嗜好品としての必要性について深く学ぶ。<input type="checkbox"/></p> <p>第8回 資源植物の必要性 4 飼料 資源植物の飼料としての必要性について深く学ぶ。<input type="checkbox"/></p> <p>第9回 資源植物の必要性 5 工業原料（アルコール原料） 資源植物の工業原料（アルコール原料）としての必要性について深く学ぶ。<input type="checkbox"/></p> <p>第10回 資源植物の必要性 6 工業原料（アルコール原料以外） 資源植物の工業原料（アルコール原料以外）としての必要性について深く学ぶ。<input type="checkbox"/></p> <p>第11回 資源植物の必要性 7 医薬品（予防薬） 資源植物の医薬品（予防薬）としての必要性について深く学ぶ。<input type="checkbox"/></p> <p>第12回 資源植物の必要性 8 医薬品（治療薬） 資源植物の医薬品（治療薬）としての必要性について深く学ぶ。<input type="checkbox"/></p> <p>第13回 資源植物の必要性 9 環境浄化 資源植物の環境浄化としての必要性について深く学ぶ。<input type="checkbox"/></p> <p>第14回 資源植物の必要性 10 土壌保全 資源植物の土壌保全としての必要性について深く学ぶ。<input type="checkbox"/></p> <p>第15回 資源植物の必要性 11 緑肥 資源植物の緑肥としての必要性について深く学ぶ。</p>								
授業の到達目標	資源植物の意義と必要性を理解することを目標としている【知識・理解の育成】【汎用的技能の育成】【人間力の育成】。								
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・技能と教養-(1)食・緑」の専門分野における高度な知識・技能								
授業時間外学習【予習】	プレゼンテーションの基本を勉強する（約1時間）。								
授業時間外学習【復習】	指摘事項の対応を考える（約1時間）。								
課題に対するフィードバック	プレゼン内容について講評する。								
評価方法・基準	受講態度（50点）、プレゼンテーション内容（50点）								
テキスト	毎回、発表者が準備する。								
参考書	資源植物学-研究方法への手引き								
備考									